

科目名 診療画像技術学演習

1単位 30時間 昼間部3年 後期 担当講師 西林 直行

教育目標

前期の画像検査技術学を引き継ぎ、演習課題への取り組みによって、検査法の手技、使用する診断装置と画像処理を相互に関連づけて理解する。また、診療放射線技師に必要な医用機器の安全管理・品質保証について知識をまとめる。

使用教材 医用放射線ノート「診療画像技術学」(自著)、演習課題プリント

推奨参考書 画像診断全科100疾患 大井静雄 編者 照林社
メディカルノート画像診断 小川敏英 編集 西村書店

出欠確認方法 点呼 出席確認 1回 試験実施 有 評価方法 試験・出席状況等

授業概要(後期)

- 1回 (総論) 画像検査と診断機器
- 2回 消化器系のX線検査
- 3回 消化器系の超音波検査
- 4回 消化器系のCT検査
- 5回 消化器系のMRI検査
- 6回 泌尿器・産科、婦人科系の検査
- 7回 脳・中枢神経系検査(頭部X線、CT検査)
- 8回 脳・中枢神経系検査(頭部MRI検査)
- 9回 脳・中枢神経系検査(脳血管障害とCT、MRI検査)
- 10回 脳・中枢神経系検査(脳血管障害とMRI検査)
- 11回 整形外科系(脊椎・骨・関節MRI検査)
- 12回 無散瞳眼底カメラと眼底検査
- 13回 呼吸器系検査(胸部X線、CT検査)
- 14回 循環器系検査(心臓・大動脈CT)
- 15回 画像診断装置の性能評価と安全管理(JIS)

【実務経験】

診療放射線技師として、大学付属病院に約20年間勤務する。
専門分野である診療画像機器、画像検査学の他、診療画像技術学実習を指導している。